平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人　豊肥福祉会

本部事業報告

1.　法人運営報告

平成30年度は、①質の高いサービスの提供②地域福祉活動と地域への公益的な取組の推進③職員の確保と人材育成④経営基盤の安定化を法人の重点目標として取り組んでまいりました。

利用者の障害種別及びニーズは多様化しており、支援者は、それに応えられるスキルが求められております。利用者やご家族の意向・ニーズを尊重し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を、施設内及び地域社会において営むことができることを最大の目標とし、ご家族、医療機関や行政、関係機関と密な連携を図り取り組んでまいりました。

質の高いサービスの提供については、原点である「人権」をキーワードに外部の研修に積極的に参加させ、内部研修では利用者の人格を真に尊重する精神や職務に対する責任感、自ら進んで職務を遂行する意識の醸成を図りました。また、利用者の安心・安全の確保として防災訓練・インフルエンザ・健康診断の推進など行い、安心して暮らせる施設づくりに取り組んでまいりました。

地域福祉活動等については、大分県では平成30年は国民文化祭があり、当法人からも数名の方が出展されました。アートやスポーツなどは利用者のモチベーションをあげる原動力となり、ストレングス視点を重視し、支援に積極的に取り組んでおります。また、地域のお祭りや催し物などに積極的に参加し、拠点では「ふれあいまつり」を催し地域の方々との交流を深めてまいりました。

職員の確保と人材育成については、本部主催の研修を随時開催、人事異動、マニュアル作成など行い、画一的・効率的な業務が図れるよう努めてまいりました。

経営基盤の安定化については、法改正により精神科からの長期入院者の退院や矯正施設や入所施設からの退所の問い合わせが増えておりますが、社会生活に馴染めない方が多く、職員の配置増員、入居直後の再入院などとなり、財政を脅かす状況となっておりますが、出来る限りニーズに応えられるよう医療機関や行政及び関係機関と密な連携をはかり、利用者が地域に定着することが出来るよう取り組んでおります。

グループホームの受け皿のニーズは、いまだ不足しており、4月に本部及び就労継続支援B型「ひかり」及び相談支援事業所「のびる園」の複合型施設を大分市田尻に開設し、5月にはグループホーム「ひかりの杜ふじが丘」8月にはグループホーム「ひかりの杜むなかた」を開所いたしました。

また、平成31年4月の中津市の複合型施設「はなの里」　オープンに向け取り組んで参りました。

利用者の人権の尊重・尊厳を念頭におき、利用者の方々が普通の暮らしを営むことができるよう努めてまいりたいと思います。

2．運営事業

第二種社会福祉事業

ア　障害福祉サービス事業の設置経営

イ　相談支援事業の設置経営

ウ　障害児通所支援事業の設置経営

拠点名	住所名	事業名	定員
本部（事務局）	大分県大分市大字田尻92-1		-
相談のびる園	大分県大分市大字田尻92-1	計画相談、地域移行相談 地域定着相談	-
のびる園	大分県竹田市大字三宅1559-1	就労継続支援B型	20名
	大分県竹田市荻町高城1173-1	外部サービス利用型共同生活援助	12名
明日の輪	大分県大分市大字佐野4453	多機能 ・就労継続支援B型 ・生活介護	46名 (30名) (６名)
	大分県大分市大字佐野4454-1	外部サービス利用型共同生活援助	40名
	大分県大分市大字佐野4454-1	短期入所空床型	-
	大分県大分市大字佐野4453	放課後デイサービス	10名
大樹	大分県豊後高田市高田2110-6	介護サービス包括型共同生活援助 就労継続支援B型	25名
	大分県豊後高田市高田2110-6		20名
美久の杜	大分県大分市大字中戸次4776-2	介護サービス包括型共同生活援助 就労継続支援B型	20名
	大分県大分市大字中戸次4776-2		20名

2．　職員数

拠点	常勤	（うち正規職員）	パート	合計
本部	3　（うち役員及び２名兼任）	3	0	3
特定のびる	1　（うち役員及び兼任）	1	0	1
のびる園	9	2	4	13
明日の輪	16	6	29	45
大樹	13	3	5	18
美久の杜	11	3	11	22
ひかり	13（うち１名兼任）	4	15	28
合計	66	22	64	130

※業務委託含む

3. 会議等の開催

○監事監査　H30. 6. 4

○理事会

回数	開催日	議案	
第１回	H30. 6. 11	第１号報告	諸規則（運営規程）の変更
		第１号議案	平成 29 年度事業報告
		第２号議案	平成 29 年度決算報告
		第３号議案	平成 30 年度第１次補正予算案
		第４号議案	定款変更
		第５号議案	諸規則の変更
		第６号議案	施設長等の任命
		第７号議案	グループホームひかりの杜り開所
		第８号議案	長期借入金
		第９号議案	第三者委員の選任
		第 10 号議案	賞与
		第 11 号議案	就労移行支援事業明日の輪の廃止
		第 12 号議案	定時評議委員会の招集
		第 13 号議案	役員報酬等
第２回	H30. 8. 31	第１号報告	中間報告
		第２号報告	大分県指導監査結果
		第３号報告	諸規則（運営規程）の変更
第３回	H30. 10. 9	第１号議案	借入
第４回	H30. 11. 30	第１号報告	中間報告
		第２号報告	大分市指導監査結果
		第３号議案	諸規則の変更
		第４号議案	賞与
		第５号議案	長期借入金
		第６号議案	施設長任命
第５回	H31. 3. 20	第１号議案	平成 31 年度事業計画案
		第２号議案	平成 31 年度当初予算案
		第３号議案	新規事業等
		第４号議案	施設長任命等
		第５号議案	諸規則の変更
		第６号議案	長期借入金

○評議員会

回数	開催日	議案	
第１回	H30. 6. 25	第１号議案	平成 29 年度事業報告
		第２号議案	平成 29 年度決算報告
		第３号議案	定款変更
		第４号議案	役員報酬

４．法人変更登記

・平成 30 年６月　資産変更

・平成 30 年８月　　主たる事務所の移転

５．施設整備又は重要な修繕及び借入金

・本年度は、４月に本部及び相談のびる拠点及び就労継続Ｂひかり拠点の複合施設を田尻に開設し、５月にはクループホームひかりの杜ふじがおか、８月にはグループホームひかりの杜むなかたを開設した。また、多機能型及びグループホーム複合型施設「はなの里」４月オープンに向け取り組んできた。運営資金のため長期借入金を借り入れた。

６．施設長会議及びリスクマネジメント委員会の開催

・毎月１回開催し、各拠点の月次の事業報告及び収支報告等を受け調整及び業務の改善、研修等を行った。

７．各拠点行事への参加

・明日の輪、２年祭り参加。

・大樹、１年祭参加。

・美久の杜、ふれあい祭り参加。

・のびる園、収穫祭参加。

9. 本部事務局運営報告

〇本部事務局各部取組

・随時業務指導・研修を行った。

・毎月拠点において内部監査を行った。

・年度末、職員と面談を行い随時、職員からの相談を受け付け、業務の改善等行った。

・豊肥福祉会パンフレットの更新した。

・拠点全体の活動報告として「News Watch HOUHI 」第５号～第１３号を発行した。

・４月に所轄庁監査資料に基づいて内部監査を行った。

・各拠点利用者・職員調整等行った。

第2　相談のびる園拠点

1. 概要

拠点名	相談のびる園
指定・事業所・定員	●平成27年1月1日～平成33年12月31日　竹田市指定 　平成28年10月1日～平成34年9月30日　大分市指定(移行) 4430800294　特定相談支援事業所のびる園 ●平成30年4月1日～平成36年3月31日　大分市指定 4430800294　一般相談支援事業所のびる園
事業所所在地	大分県大分市大字田尻92番1
電話/FAX	Tel 097-543－5472/ Fax 097-543-5473
Eメール	Tokutei.nobiru@gmail.com
職員配置	管理者1名(兼任)、相談支援専門員1名、事務員1名(兼任) 合計　常勤1名(本部兼任)

2. 研修

時期	研修内容
8 月	相談支援専門員連絡会議　一般相談　相談支援専門員連絡会議　特定相談
9 月	本格的な報酬改定を迎えるにあたっての相談支援専門員に求められること
9 月	自殺対策支援研修
10 月	大分県知的障害者施設協会　施設長会
10 月	精神障害者の退院支援等実務者研修会
10 月	成年後見制度普及啓発イベント
11 月	H30 第 2 回相談支援専門員連絡会　地域移行・地域定着支援連絡会
12 月	大分県知的障害者施設協議会部会会議
12 月	権利擁護・地域生活支援セミナー
3 月	大分県知的障害者施設協会　施設長会
3 月	H30 第 3 回相談支援専門員連絡会

3. 事業内容

(1)基本相談

・利用者の権利擁護の視点に立ち、福祉サービスの利用に限らず成年後見制度や虐待防止に向けて環境調整等必要な支援を行った。

・関係機関（行政機関・医療機関・教育機関・児童福祉関係者等）と適宜ケア会議など情報交換を行い支援の方向性を確認していった。

(2)計画相談

・ご本人・ご家族・関係機関・サービス事業所等と信頼関係を深め、情報共有を行いながら利用者ひとりひとりのニーズに応じて計画作成を行い、サービスや環境調整を行っていった。

(3)一般相談

・障害者施設や精神科病院等に入所、及び入院している方に対し、地域 移行生活に向けた相談や同行支援を行った。

(4)権利擁護

常に障害者が置かれている立場を代弁するという権利擁護の観点に立ち、障害者の自己決 定・自己選択を支援した。

(5)資質の向上

研修計画を作成し、外部の集合研修や法人研修への参加、および事業所内部研修を実施し、相談

支援の基本姿勢を高め、信頼関係を形成する力・相談支援に係る幅広い知識と技術の習得・交渉力・調整力等の資質向上を図った。

(6)苦情の取り組み

・苦情相談窓口を設け、利用者の意見に真摯に対応していくとともに、意見や要望に対しても丁寧に説明や対応を行いサービスの質の向上を図った。

(7) 地域貢献活動

・サービス事業所や関係機関等が開催する催し物に積極的に参加した。

第３　のびる園拠点

1. 概要

拠点名	のびる園	
指定・事業所名・定員	●平成18年10月1日～平成24年9月30日　大分県指定 （旧制度　知的障害者授産施設　昭和61年4月大分県指定） 平成24年10月1日～平成30年9月30日　大分県更新 平成30年10月1日～平成36年9月30日　大分県更新 4420800064　外部サービス利用型共同生活援助「グループホーム母家」 4410800082　就労継続支援B型「のびる園」	 12名 20名
事業所所在地	竹田市大字三宅1559-1	
電話/FAX	TEL0974-63-2889　　FAX0974-63-2893	
Eメール		
職員配置	管理者1名（兼任）、サービス管理責任者1名、生活支援員2名、職業指導員1名、目標工賃達成指導員1名、世話人3名、世話人3名（非常勤）、夜間支援員1名、夜間支援員1名（非常勤）、事務員1名（非常勤）（※業務委託含む）合計　常勤9名、非常勤4名	

2. 研修

月	研修
４月	世話人会、職員会議
５月	世話人会、職員会議、人権学習学級（人権）
６月	世話人会、職員会議　人権学習学級（ハンセン病と人権）
７月	世話人会、職員会議　人権学習学級（障がい者の人権）
８月	世話人会、職員会議　人権学習学級（人権を守る市民の集い）
９月	世話人会、職員会議　人権学習学級（インターネットと人権）
10月	世話人会、職員会議　人権学習学級（セクシャリティについて考える）
11月	世話人会、職員会議　人権学習学級（人権の大切さに気付く）
12月	世話人会、職員会議　人権学習学級（差別っていったいなんやねん）
１月	世話人会、職員会議　人権学習学級（笑顔で元気）
２月	世話人会、職員会議　人権学習学級（映画鑑賞）
３月	世話人会、職員会議　人権学習学級

3. 行事

月	内容	月	内容
４月	総会・花見	１０月	なかよしまつり参加、日帰り旅行
５月	くじゅう花公園見学	１１月	かぼす慰労会
６月	買い物実習	１２月	収穫祭、忘年会、クリスマス会、年末年始買い物実習
７月	カボスがんばろう会、大掃除	１月	初詣、風船バレー大会参加
８月	健康診断、かぼす収穫	２月	節分、健康福祉まつり参加
９月	かぼす収穫	３月	竹田市城下町ひな巡り

4. 事業内容

(1)個別支援計画

・本人や家族からの言葉を聞き取り、関係機関の意見も聞き入れながら、作り上げていった。

・差別や偏見から本来有している力を発揮しきれない状態にある人に対しその力を引き出すための援助（エンパワメント）に努めた。

・利用者の持つ強さ、良さ、長所、コンピテンス（潜在能力）、潜在性を引き出す　・ひとつの行動を肯定的にみる（ストレングスモデル）ようにした。

・利用者の主体性を尊重し、持てる能力や可能性を最大限に引き出す支援をした。
・相談支援専門員からのサービス利用計画書に従って、具体的な個別支援計画を策定した。
・利用者と十分な話し合いの上での同意に基づき、入所時、入所時以降４月と１０月に個別支援策定会議を開催し、個別支援計画書の策定・見直しを行った。
・利用者のニーズを優先し、利用者一人ひとりの特性にあった支援計画を策定した。

(2)支援内容(生活支援、作業支援等)

・個別支援計画に沿って適切な支援を根気よく継続して行った。
・利用者個々の意向・適性・作業能力等に加え、高齢化・重度化・重複化を勘案し、適切な作業訓練と生活支援を行った。
・利用者やその家族の意向、ニーズに基づいて一般就労に向けた支援を行った。

(3)個人情報保護等

・個人情報保護等に関する法令、その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めた。
・個人情報の利用目的を特定し、公正かつ適切に取り扱った。

(4)法令遵守

・法令の遵守はもとより、社会規範、慣習等のルール・精神を尊重し、社会的良識をもって行動した。

(5)苦情解決の取り組み

・苦情処理体制を整備・拡充し、苦情の際には速やかに必要に応じた対応を行った。

リスクマネジメントの取り組み

・事故原因の分析と対応策を考え、危険に対する「気づき」の視点を学んだ。
・法人内の苦情解決委員会を中心に、市の社会福祉課とも連携した中で対応を図った。

(6)虐待防止について

・年に１回以上虐待防止委員会を開催し、年に３回以上虐待防止に関する研修を行った。常に相手の立場に立ち、適切な支援を心がけた。４月と１０月にセルフチェックを行った。

(7)環境整備

・危険因子の排除や環境改善、設備機器等の点検等を適時実施し、作業・生活面の両面において日常的な安全意識の高揚により、作業事故、車両事故等の防止に努めた。
・環境整備の取り組みとして、施設内外の清掃を毎日行い、年に２回大掃除を行い、安全・快適な環境づくりと環境美化に対する意識の高揚に努めた。

(8)衛生健康管理

・日常の健康チェック等を通して、利用者の心身状態の把握に努め、疾病等の早期発見・早期治療の働きかけを行った。
・インフルエンザ予防接種の推進・引率を行うほか感染症の発生・まん延防止に努めた。
・日々のバイタルチェックを行い、予防接種や健康診断、また研修を通じた職員の知識習得に努めて、病院と連携した健康管理を徹底した。

(9)非常災害対策

・火災・震災・風水害を想定した避難訓練を毎月一回行い、年に１回消防署立会のもと消防実地訓練を行い、防災意識の啓発と災害発生時の対応に備えた。

(10)防犯対策

・障害のあるなしに関わらず地域とのつながりを大切にしつつ、一方犯罪の被害を抑え、利用者や職員の安全・安心を確保するという両立を図った。

・防犯マニュアルを作成し、施設の最低限の防犯への備えと意識を心がけることができるよう努めた。

・施設・個室の施錠励行と確認の徹底も含め被害者とならないことはもちろん、加害者となり得ないように注意した。

(11)家族との連携

・適切な支援と健全な育成を図るためには、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持することに努めた。

・キーパーソンと連携を密にして、信頼関係の保持に努めた。

(12)地域貢献活動

・自動販売機を設置し、日本財団への寄付に努める。

・地域で開催される諸行事や当法人の行事への相互交流を通して、地域住民と利用者とのふれあいを深め、相互補完による地域福祉の充実強化を図った。

・地域密着を基本に、施設行事の際には可能な範囲で地域住民と交流が図れる企画を行い、ふれあいを深めた。

(13)職員健康管理

・健康管理には十分留意し、年1回健康診断を実施し健康維持・生活習慣病予防に努めた。

・平成31年2月を予定とし、年一回の健康診断の実施した。

(14)職員研修

・職員の支援力の向上、充実をはかる為、職員会議やケース会議等の内部研修の場において、支援計画や実践報告等の話し合いを行った。外部研修へ積極的に参加した。

第4　明日の輪拠点

1. 概要

拠点名	明日の輪	
指定・事業所名・定員	●平成28年4月1日～平成34年3月31日　大分市新規指定 4410103808　「外部サービス利用型共同生活援助事業所明日の輪」 4410103792　「短期入所空床利用型共同生活援助事業所明日の輪」 4410103784　「多機能型事業所明日の輪」 ●平成28年4月1日～平成34年3月31日　大分県新規指定 4450100773　「放課後等デイサービス事業所明日の輪」	 40名 -名 46名 10名
事業所所在地	大分市大字佐野4453番地	
電話/FAX	097-578-6611　　097-578-6622	
Eメール	asunowa@iaa.itkeeper.ne.jp	
職員配置	管理者2名(兼任)、サービス管理責任者2名、児童発達管理責任者1名、生活支援員1名、生活支援員4名(非常勤)、職業指導員4名、職業指導員4名(非常勤)、目標工賃達成指導員1名、世話人3名、世話人14名(非常勤)、夜間支援員6名(非常勤)、保育士2名、児童指導員1名、福祉経験者1名、事務員1名(非常勤) 合計　常勤16名、非常勤29名	

3. 研修

月	研修
4月	報酬改定
5月	虐待防止
6月	内部研修報告
7月	虐待防止/感染予防
8月	高次脳機能障害理解
9月	感染症対策・行動規範・ストレスチェック
10月	ヒヤリハット/内部研修報告・福祉施設等における感染症予防・虐待防止・権利擁護研修
11月	5w1H 通所事業所交流会・サビ管研修 GH
12月	世話人マニュアル改定、明日の輪での対応方法について
1月	インフルエンザ・ノロウイルス対策対応方法
2月	防犯マニュアル
3月	防災訓練マニュアル見直し、報酬改定

3. 行事

月	内容	月	内容
4月	2周年記念祭	10月	消防訓練
5月	萬弘寺の市	11月	丹生小学校 PTA/丹生地区ふるさとまつり参加
6月		12月	忘年会
7月	関崎海星館	1月	初詣
8月		2月	
9月	ぶどう狩り/丹生神社 1320 年祭	3月	防火訓練/花見(佐野植物公園)

4. 事業内容

のびる園拠点に準じ取り組む。

放課後デイサービスは「放課後デイサービスガイドライン」に準じ取り組む。

第5　大樹拠点

1. 概要

拠点名	大樹	
指定・事業所名・定員	●平成29年4月1日～平成35年3月31日　大分県指定 4410900221　「就労継続支援B型大樹」 4420900211　「介護サービス包括型共同生活援助大樹」	 20名 25名
事業所所在地	豊後高田市高田2110番地6	
電話/FAX	0978-25-6325・0978-25-6326	
Eメール	houhi.takada@gmail.com	
職員配置	管理者1名(兼任)、サービス管理責任者1名、生活支援員2名、職業指導員3名、職業指導員2名(非常勤)、目標工賃達成指導員1名、世話人3名、世話人2名(非常勤)、夜間支援員3名、夜間支援員1名(非常勤)、事務員1名(兼任) 合計　常勤13名、非常勤5名	

2. 研修

月	研修
4月	リスクマネジメント
5月	障害者差別解消法
6月	リスクマネジメント、共同受注説明会
7月	サービス管理責任者初任者研修、虐待防止
8月	防災研修、共同受注研修
9月	虐待防止、豊後高田市障がい者雇用セミナー
10月	感染症対策、大分県障がい者虐待防止・権利擁護研修、保護司会研修、就労支援者研修
11月	適切な表現について
12月	防犯対策、就労支援者研修、サービス管理責任者研修
1月	虐待防止、就労支援者研修、強度行動障害研修
2月	感染症対策、就労支援者研修、強度行動障害研修
3月	リスクマネジメント、強度行動障害研修

3. 行事

月	内容	月	内容
4月	1周年記念行事	10月	ハロウインパーティ
5月	鉄板焼き大会	11月	外食
6月	映画・演劇鑑賞、ボーリング、外食	12月	忘年会
7月	そうめん流し	1月	初詣
8月	外食	2月	節分
9月	お楽しみ会	3月	外食

4. 事業内容

のびる園拠点に準じ取り組む。

第6　美久の杜拠点

1. 概要

拠点名	美久の杜	
指定・事業所名・定員	●平成29年8月1日～平成35年7月31日大分市指定	
	4410104188　「就労継続支援B型所美久の杜」	20名
	4420104178　「介護サービス包括型共同生活援助所美久の杜」	20名
事業所所在地	大分市大字中戸次4776番地2	
電話/FAX	097-535-8815・097-535-8816	
Eメール	mikunomori@leaf.ocn.ne.jp	
職員配置	管理者1名(兼任)、サービス管理責任者1名、生活支援員3名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、世話人2名、世話人9名(非常勤)、夜間支援員2名、夜間支援員1名(非常勤)、事務員1名(非常勤) 合計　常勤11名、非常勤11名	

2. 研修

月	研修
4月	虐待研修
5月	防犯研修、避難訓練
6月	倫理・基本理念・行動指針、個別支援計画
7月	虐待防止
8月	障がい者関係法令
9月	リスクマネジメント
10月	防災
11月	虐待研修、避難訓練
12月	感染予防(ノロウイルス、インフルエンザの予防や対策)
1月	虐待研修
2月	障がい者の理解について
3月	虐待研修

3. 行事

月	内容	月	内容
4月	原尻の滝散策	10月	湯布院散策、魚つり
5月	別府地獄めぐり	11月	障がい者アート見学、買い物、魚釣り
6月	津久見いるか島散策	12月	美久のふれあいまつり、忘年会
7月	稲積水中鍾乳洞散策	1月	初詣、新年会
8月	鶴見岳散策	2月	パークプレイス大分
9月	バイキング、魚つり	3月	花見、魚つり

4. 事業内容

　のびる園拠点に準じ取り組む。

第7　ひかり拠点

1．概要

拠点名	ひかり	
指定・事業所名・定員	●平成30年4月1日～平成36年3月31日大分市指定 4410104360　就労継続支援B型「ひかり」 ●平成30年5月1日～平成36年4月30日大分市指定 4420104392　介護サービス包括型共同生活援助「ひかりの杜ふじが丘」 ●平成30年8月1日～平成36年7月31日大分市指定 4420104467　介護サービス包括型共同生活援助「ひかりの杜むなかた」	 20　名 4　名 28　名
事業所所在地	大分市大字田尻92番1	
電話/FAX	097-535-8878 097-535-8879	
Eメール	houhi.fukami@gmail.com	
職員配置	管理者1名(兼任)、サービス管理責任者1名、生活支援員4名、生活支援2名(非常勤)、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名、世話人4名、世話人6名(非常勤)、夜間支援員7名(非常勤)、事務員1名(兼任)　(※業務委託含む) 合計　常勤13名、非常勤15名	

2. 研修

月	研修
4月	解離性障害について
5月	
6月	虐待防止
7月	経済的虐待、初任者研修
8月	
9月	精神病の対応方法
10月	インフルエンザについて
11月	アルコール依存症について、支援について
12月	誤薬について
1月	アスペルガー症候群について
2月	人権擁護について
3月	強度行動障害について

3. 行事

月	内容	月	内容
4月		10月	関アジ関サバ館昼食会
5月	くじゅう花公園研修	11月	白馬渓、すたみな太郎
6月	アミュプラザ大分買い物実習	12月	クリスマス会、防災避難訓練、インフルエンザ予防接種、大掃除
7月	防災訓練、昭和の町見学	1月	三社まいり
8月	佐賀関、海星館研修	2月	
9月	ブッチャーズテーブル昼食会、OBS感謝祭出店	3月	ボーリング

4. 事業内容

のびる園拠点に準じ取り組む。

決　算　報　告　書

（自）　平成 30 年　4 月　1 日
（至）　平成 31 年　3 月 31 日

社会福祉法人豊肥福祉会

第一号第一様式

法人単位資金収支計算書

(自)平成30年 4月 1日　(至)平成31年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会　　　　　　　　(単位：　　円)

勘定科目			予算	決算	差異	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	32,840,000	28,422,353	4,417,647	
		障害福祉サービス等事業収入	479,690,000	437,119,297	42,570,703	
		経常経費寄附金収入	0	14,156,400	△ 14,156,400	
		受取利息配当金収入	10,000	718	9,282	
		その他の収入	700,000	1,620,781	△ 920,781	
		事業活動収入計	513,240,000	481,319,549	31,920,451	
	支出	人件費支出	255,200,000	261,990,683	△ 6,790,683	
		事業費支出	43,410,000	52,201,662	△ 8,791,662	
		事務費支出	156,410,000	157,028,426	△ 618,426	
		就労支援事業支出	32,840,000	28,422,353	4,417,647	
		支払利息支出	2,160,000	2,326,581	△ 166,581	
		その他の支出	100,000	0	100,000	
		事業活動支出計	490,120,000	501,969,705	△ 11,849,705	
	事業活動資金収支差額		23,120,000	△ 20,650,156	43,770,156	
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計	0	0	0	
	支出	固定資産取得支出	0	1,069,760	△ 1,069,760	
		施設整備等支出計	0	1,069,760	△ 1,069,760	
	施設整備等資金収支差額		0	△ 1,069,760	1,069,760	
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	28,000,000	191,000,000	△ 163,000,000	
		長期貸付金回収収入	10,200,000	0	10,200,000	
		その他の活動収入計	38,200,000	191,000,000	△ 152,800,000	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	7,800,000	134,908,000	△ 127,108,000	
		積立資産支出	1,950,000	2,060,552	△ 110,552	
		その他の活動支出計	9,750,000	136,968,552	△ 127,218,552	
	その他の活動資金収支差額		28,450,000	54,031,448	△ 25,581,448	
予備費支出			35,234,600 0	—	35,234,600	
当期資金収支差額合計			16,335,400	32,311,532	△ 15,976,132	

前期末支払資金残高	57,137,872	57,137,872	0	
当期末支払資金残高	73,473,272	89,449,404	△ 15,976,132	

第二号第一様式

法人単位事業活動計算書

(自)平成30年 4月 1日　(至)平成31年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会　　　　(単位：　円)

勘定科目			当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	28,422,353	13,503,248	14,919,105
		障害福祉サービス等事業収益	437,119,297	278,617,082	158,502,215
		経常経費寄附金収益	14,156,400	20,000,000	△ 5,843,600
		サービス活動収益計	479,698,050	312,120,330	167,577,720
	費用	人件費	264,051,235	206,800,970	57,250,265
		事業費	52,201,662	42,042,621	10,159,041
		事務費	157,028,426	102,024,490	55,003,936
		就労支援事業費用	28,422,353	12,799,300	15,623,053
		減価償却費	3,575,765	3,427,697	148,068
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,079,284	△ 2,036,616	△ 42,668
		サービス活動費用計	503,200,157	365,058,462	138,141,695
	サービス活動増減差額		△ 23,502,107	△ 52,938,132	29,436,025
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	718	711	7
		その他のサービス活動外収益	1,620,781	2,956,457	△ 1,335,676
		サービス活動外収益計	1,621,499	2,957,168	△ 1,335,669
	費用	支払利息	2,326,581	1,546,847	779,734
		サービス活動外費用計	2,326,581	1,546,847	779,734
	サービス活動外増減差額		△ 705,082	1,410,321	△ 2,115,403
経常増減差額			△ 24,207,189	△ 51,527,811	27,320,622
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	511,000	△ 511,000
		特別収益計	0	511,000	△ 511,000
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	0	511,000	△ 511,000
		特別費用計	0	511,000	△ 511,000
	特別増減差額		0	0	0
当期活動増減差額			△ 24,207,189	△ 51,527,811	27,320,622
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額		△ 87,089,534	△ 35,561,723	△ 51,527,811
	当期末繰越活動増減差額		△ 111,296,723	△ 87,089,534	△ 24,207,189
	基本金取崩額		0	0	0
	その他の積立金取崩額		0	0	0
	その他の積立金積立額		0	0	0
	次期繰越活動増減差額		△ 111,296,723	△ 87,089,534	△ 24,207,189

第三号第一様式

法人単位貸借対照表

平成31年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：　円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	112,008,506	74,208,918	37,799,588	流動負債	81,059,102	17,071,046	63,988,056
現金預金	21,324,666	12,528,767	8,795,899	未払金	22,477,052	17,061,046	5,416,006
未収金	77,209,028	57,929,943	19,279,085	1年以内返済予定長期運営資金借入金	58,500,000	0	58,500,000
前払金	9,250,000	0	9,250,000	預り金	82,050	0	82,050
預託金	56,470	56,470	0	仮受金	0	10,000	△ 10,000
仮払金	4,168,342	3,693,738	474,604				
固定資産	67,877,929	68,695,078	△ 817,149	固定負債	95,934,128	96,653,272	△ 719,144
基本財産	61,984,039	64,461,262	△ 2,477,223	長期運営資金借入金	91,880,000	94,288,000	△ 2,408,000
土地	3,500,000	3,500,000	0	退職給付引当金	4,054,128	2,365,272	1,688,856
建物	58,484,039	60,961,262	△ 2,477,223	負債の部合計	176,993,230	113,724,318	63,268,912
その他の固定資産	5,893,890	4,233,816	1,660,074	純資産の部			
建物	5	5	0	基本金	83,469,867	83,469,867	0
構築物	4	4	0	国庫補助金等特別積立金	30,720,061	32,799,345	△ 2,079,284
機械及び装置	244,994	286,483	△ 41,489	その他の積立金	0	0	0
車輌運搬具	140,839	127,505	13,334	次期繰越活動増減差額	△111,296,723	△ 87,089,534	△ 24,207,189
器具及び備品	1,130,420	1,131,047	△ 627	（うち当期活動増減差額）	△ 24,207,189	△ 51,527,811	27,320,622
権利	73,500	73,500	0	純資産の部合計	2,893,205	29,179,678	△ 26,286,473
出資金	250,000	250,000	0				
退職給付引当資産	4,054,128	2,365,272	1,688,856				
資産の部合計	179,886,435	142,903,996	36,982,439	負債及び純資産の部合計	179,886,435	142,903,996	36,982,439